

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-2-3		事業名	地区センターバリアフリー化事業			
担当	市民まちづくり局地域振興部区政課 早坂 211-2252						
全体計画							
事業内容	地域のコミュニティ活動の拠点である地区センターにおいて、高齢者や障がい者の社会参加の機会を拡充するため、エレベーター未設置の地区センターにエレベーターを設置する。		<年度別の事業内容>				
			20年度 藤野地区センター 21年度 ふしこ地区センター 22年度 新発寒地区センター				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	(空欄)			高齢者・障がい者の社会参加の促進、地区センターの利便性向上のため、藤野地区センター(南区藤野2条7丁目)に車いす対応エレベーターを1基設置する。 (事業費:43,000千円)			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
エレベーター未設置の地区センター数		10カ所	10カ所	9カ所	8カ所	7カ所	7カ所
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加							
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		3-2-3		事業名	地区センターバリアフリー化事業		
評価(成果)				課題			
				20年度の事業結果(藤野地区センターエレベーター設置工事)を見た上で課題を整理し、今後の事業に反映していきたい。			
今後の事業の予定・方向							
23年度 西野地区センター 24年度 厚別西地区センター 25年度 栄地区センター 26年度 星置地区センター 27年度 もいわ地区センター 28年度 新琴似・新川地区センター、西岡福住地区センター ・今後、当該計画事業を実施するにあたり、各居室(貸室)のバリアフリー化を併せて検討する。 ・当該計画事業に併せて、老朽化している設備等の改修を、建築部で実施している計画修繕で対応できるよう調整を図る。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	46,700	53,600	46,700	147,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市債	0	41,000	46,000	41,000	128,000
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	5,700	7,600	5,700	19,000		
予算	事業費	0	43,000	-	-	43,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0		0	
		市債	0	0		0	
		その他	0	0		0	
一般財源	0	43,000			43,000		
実績	事業費	0	-	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0			0	
		市債	0			0	
		その他	0			0	
一般財源	0				0		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				29.3%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							